MBL A JSR Life Sciences Company

株式会社医学生物学研究所

作成日 ： 2021年10月07日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 ：SARS-CoV-2 nucleocapsid phosphoprotein (301-315) Peptide
製品コード：SPC013

推奨用途及び使用上の制限
推奨用途 ： 研究用
使用上の制限 ： 疾病の診断目的には使用できない。

供給者の会社名称、住所及び電話番号
供給者の会社名称 ： 株式会社医学生物学研究所
住所 ： 〒396-0002 長野県伊那市手良沢岡 1018 番地 1
担当部署 ：SDS サポート
電話番号 ：0265-76-1777
e-mail address : sds-support@mbl.co.jp

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
健康に対する有害性
急性毒性（経口）：区分 4
急性毒性（経皮）：区分 4
急性毒性（吸入）：区分 4
皮膚腐食性/刺激性：区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2
特定標的臓器毒性（単回暴露）：区分 3
（注）記載なきGHS分類区分：該当しない/分類できない
GHSラベル要素

注意喚起語：警告
危険有害性情報
H302 飲み込むと有害
H312 皮膚に接触すると有害
H332 吸入すると有害
H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H336 眠気又はめまいのおそれ
注意書き
安全対策
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしないこと。
P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置
P301+P312 飲み込んだ場合：気分が悪い場合は医師に連絡すること。
P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗うこと。
P312 気分が悪い場合は、医師に連絡すること。

貯蔵
P403 + P233 換気の良い場所に保管すること。容器をしっかりと密閉すること。

廃棄
P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :
化学物質

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
カスタム合成ペプチド	-	99<	-

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合
口をすすぐこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤データなし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
関係者以外は近づけない。
適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項
漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
（取扱者のばく露防止）
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
（注意事項）
皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
安全取扱注意事項
保護手袋/保護衣を着用すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避データなし
衛生対策
眼、皮膚、衣類につけないこと。
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
取扱い後はよく手を洗う。
保管
安全な保管条件
容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標
管理濃度データなし
許容濃度データなし
ばく露防止
設備対策
適切な換気のある場所で取扱う。実験室のサンプルは、ドラフト内で処理する必要がある。
局所排気と一般換気は、ばく露基準を満たすのに十分であること。
手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具
手の保護具
保護手袋を着用する。
眼の保護具
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具
保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報
物理状態 ： 粉末（凍結乾燥品）
色 ： 白色
臭い ： 無臭
融点/凝固点データなし
沸点又は初留点データなし
可燃性（ガス、液体及び固体）データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし
引火点データなし
自然発火点データなし
分解温度データなし
pHデータなし
動粘性率データなし
溶解度:
水に対する溶解度データなし
溶媒に対する溶解度データなし
n-オクタノール/水分配係数データなし
蒸気圧データなし
密度及び/又は相対密度データなし
粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
反応性データなし
化学的安定性
通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
危険有害反応可能性データなし
避けるべき条件
避けるべき条件データなし
混触危険物質
強酸、強アルカリ
危険有害な分解生成物
危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報
急性毒性
(カスタム合成ペプチド)
急性毒性(経口) LD50=500mg/kg
急性毒性(経皮) LD50=1,100mg/kg
急性毒性(吸入) LD50=1.5 mg / L/ 4時間
局所効果
皮膚腐食性/刺激性
(カスタム合成ペプチド)
皮膚刺激を引き起こす。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
(カスタム合成ペプチド)
眼の刺激を引き起こす。
呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし
生殖細胞変異原性データなし
発がん性データなし
催奇形性データなし
生殖毒性データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
(カスタム合成ペプチド)
眠気やめまいのおそれ。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし
誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性データなし
残留性・分解性データなし
生体蓄積性データなし
土壌中の移動性データなし
他の有害影響
オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類に該当しない
IMDG Code (国際海上危険物規程) に該当しない
IATA 航空危険物規則書に該当しない
環境有害性
MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止
海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当
国内規制がある場合の規制情報
船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法
特化則に該当しない製品
有機溶剤等に該当しない製品
労働安全衛生法に該当しない。
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法に該当しない。
化審法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第61版 (2020年)
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (Table 3 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2020 TLVs and BEIs. (ACGIH)
http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php
JIS Z 7253 : 2019
JIS Z 7252 : 2019

2019 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）
Supplier's data/information

責任の限定について

安全データシートの記載内容は、一般に入手可能な情報（及び導入元からの情報）に基づいて作成していますが、現時点における化学または技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんのでいかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いの場合には別途の配慮をお願いいたします。

安全データシート（SDS)の著作権は株式会社医学生物学研究所に帰属し、流用を禁じます。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 平成30年度)です。